

大 図 研 ぐんま支部報

2011.1.25
Vol.10
No.1

※ 新会員紹介 ※

むらやま なつき
村山夏樹さん (群馬県立文書館)

大図研へ
ようこそ!



はじめまして。こんにちは。新しく群馬支部に仲間入りさせていただいた村山夏樹です。昨年4月に大学図書館で非常勤として勤務が決まり、今までの分野と全く異なる仕事に携わる事になりました。(編集注：現在は県立文書館にお勤めです。)何を書いたらよいか迷ってしまうのですが、あまり飾らず背伸びせず私の自己紹介をさせていただきます。

私は学生時代、大学で写真の勉強をしてきました。と言っても、毎日暗室にこもっているか、屋上で友人とおしゃべりをしたりして過ごすような不真面目な学生でした。アマチュア写真家だった植田正治の、のびのびとした写真が大好きです。

図書館で働きたいと思ったのは、自分ではわかっていると思っていた物事が、本当は全くわかっていなかったということに気付いたからです。どんな資料があり、どうすれば答えに辿り着くかという方法を熟知した司書という職業に魅力を感じ、通信教育で司書の勉強を始めました。はじめはチンプンカンプンで何度もやめてしまおうと思いましたが、図書館は本を貸し出すだけの場所ではなく、人と本を結び、人と知識を結び、人と人を結ぶ場所としての役割というものがあると理解してから、ますます図書館で働くことが楽しくなりました。自分の経験の浅さと無力さに自信を無くしてしまう毎日ですが、「好きなだけじゃ、やりたいだけじゃ駄目だ」と少しずつですが前に進んでいる最中です。大図研の皆様からも沢山学び、経験を積んでいけたらと思っていますので、どうぞ宜しくお願いします。

-----※ 会員動向 ※-----

渡部さん 福岡大学への転職に伴い、福岡支部へ転入されました。

長らくお世話になりました。福岡でも益々のご活躍を期待しております！

宮下さん “群馬県立文書館 27 年” が「大学図書館問題研究会誌」第 33 号（2010 年 8 月発行）に掲載されました。

私は、全国委員として、前泊して、準備の手伝いをしました。手伝いといっても、当日の資料の袋詰めですぐ終わってしまいました。

翌日の全国委員会では、編集部を関西の支部にお願いしたが、京都支部のみ前向きに検討するが、兵庫、大阪は難しいとの話で、頓挫しているようです。また、亀田委員長が今年いっぱい定年を迎えるので、後任を選出しなければならないとのこと。これも大変なことだと思います。いずれにしても、会員の獲得を考えないと運営がきびそうなので、群馬も他大学の参加を促していく必要を感じました。

今年の全国大会は、2010年8月28日(土)から30日(月)にかけて、大阪の千里ライフサイエンスセンターで開催されました。千里中央駅からすぐで、また施設もよくうまく設定したという感じです。施設のよさだけでなく、スムーズな運営で大会を支えていただいた大阪支部の方々にまず、感謝したいと思います。

参加者は、最終的に167名となり、大変な参加者で大成功と言えると思います。このうち75名が非会員ということで、非会員の参加が多かったようです。これについては、すばらしい企画のたまものとPRがあったためではないでしょうか。

分科会は、「リカレント教育」と「利用者支援」に参加しました。

「リカレント教育」は、初めての分科会で、発表等は行わず、北川さん(慈恵医大)を中心に自己紹介と問題意識を確認し、各人思っていることを話し合いました。参加人数は、15名程度です。主に自己研修(社会人大学)の方法について意見が出され、個人的意欲と同時に直接修士を取得したからとメリットがあるわけでないが、無いと今後の大学図書館員として勤めるには難しいという危機感をもっている人もいたように思いました。大学院経験者もいて、通信制や夜間の勉強の大変さも報告してもらいました。全体的な職場研修等や資格試験にはそれほど触れられなかったが、今後も継続するならば、そのあたりの状況も議論していけるようにしたいと思いました。

「利用者支援」については、野村さん(派遣職員)の進行でラーニングコモンズという最近の話題性もあり多くの人たちが参加しました。事例発表として、阪大図書館の事例発表がありました。図書館職員だけでなく、研究者側の報告もあり、議論が活発になされました。学生のたまり場の提供と集まった学生にどう図書館サービスができるかという問題、TAとの協働等が話し合われました。対応するかどうかは、各大学図書館の事情もありますが、検討に値するテーマではあると思います。

最終日は、シンポという形をとり、図書館の外部委託の問題を、国立大学図書館からは、最近国立大学法人にだされた市場化テストの対応(国立大学は導入反対)と、現在委託等が大変進んでいる私立大学図書館の立場を私立大学図書館関係者から、またそこで働いている委託職員からの報告を受けました。図書館業務のアウトソーシングは、運営の効率化という観点からも避けて通れないことであり、図書館職員として真剣に検討していかななくてはならないと感じました。

その他、プレゼン手法でも注目を集めた研究発表、ユニークで実務にも役立つ内容であったカビをテーマにした記念講演、懇親会も盛り上がっていました。ビブリオバトル(昼の自主企画)や天神橋筋商店街探訪や落語家と行くなにわ探検クルーズなどの面白い企画や大阪らしい企画で、にぎわっていました。

個人的収穫として、全国大会で、前に京都府立大にお勤めされていた図書館界の生き字引のような酒井さんにお会いしました。酒井さんから高崎市立図書館で、あの有名な中小レポートに関わった塚越さんという図書館員の話の聞いたことが非常にうれしかったです。43歳という若さでなくなられて市立図書館にもその関係の資料がほとんど残されていませんでしたが、後で写真や資料をいただきました。業績等調べたいと思っていたので、大変助かりました。

おまけ 東京で、松丸本舗(丸の内側一丸善4階)と旅の図書館(八重洲側)を見ていきました。どちらも東京駅のすぐそばです。松丸本舗は、松本正剛がプロデュースした本屋で、一見雑然としているようですがテーマ別に配架されており、新刊だけでなく古本も置いてあります。なぜか図書館的で面白いなと思いました。旅の図書館はJTBの運営による図書館で旅の資料が置いてあります。ビジネス街の中心にあり昼時だったので、利用者もそれなりにいました。スペース的にはそれほど広くなかったけれど、各航空会社の企業誌が相当数配架されていたのは驚きでした。まだ行かれていない方にはお勧めします。

◆編集より：大会終了後も配布資料やアンケート結果などが大会HPに掲載されています。大会に参加できなかった方も、ぜひチェックしてみてください。大阪大会ページ <https://sites.google.com/site/dtk2010osaka/>

■■ 報 告 ■■

上野村図書館見学ツアー

柘植 久美子

11/28(日)、支部大会を兼ね、今年完成したばかりの上野村図書館へ見学に行きました。参加者6名が2台に分乗し、下道で遠路上野村を目指しました。当日はお天気も良く、上着が要らないほどのぽかぽか陽気。山に向かうにつれて紅葉も映え、絶好のドライブ日和となりました。途中、下仁田の道の駅でみそおでんやソフトクリームを食べ、2時間半かけて上野村図書館へ着きました。

図書館は、小学校とつながった円柱型の建物で、ほぼ全面ガラス張りの窓から光が降り注ぎ、とても明るい雰囲気です。2階建ての建物のうち、1階が村の図書館、2階が学校図書館となっていて、午前中は学校図書館、午後は村の図書館を開館しているそうです。暖炉があり、窓からは神流川の流れを見下ろすことができ、寛げる雰囲気。現在3千冊の蔵書を、1万冊を目標に増やしていく計画だそうです。村民の交流の場となることも期待されており、図書館としては珍しい、給湯器もありました。



2階の学校図書館は、低書架が並び、寝転べるマットが敷いてあるなど、親しみやすい様子。図書館キャラクターのぬいぐるみもありました。赤木かん子さんの考えにより、蔵書はNDCによる分類をおこなわず、イラストによるグループ分けをしているとのこと。背ラベルとしてイラストシールが貼られ、それを使った手作り案内図がいい感じでした。パソコンも1クラス(10人前後)全員が1人1台使える数が揃っています。



小学校の子どもの人数は全部で60人。廊下続きの教室も見せてもらいましたが、地元の木材を使った机と椅子、太陽光発電による床暖房など、とてもよい学習環境のようです。さらに、地方交付税無交付団体である上野村の恵まれた生活(保育料月2千円、ワクチン無料、インターネット月500円、海外旅行補助etc.)を聞いて、盛り上がりました。

これまで図書館はなく、公民館図書室もあまり利用がなかったという村に出来たばかりの図書館。全てがこれからということでしたが、明るい未来を感じました。休館日にもかかわらず、案内して下さった職員の武部さんに感謝です。

上野村図書館を後にして、近くのそば屋「福寿庵」で支部大会。運ばれてくるのを待つ間に予算決算報告、そばをすすりながら次年度の活動について話しました。

話が一段落したところで、帰路に。集合場所の高崎健康福祉大学に無事全員帰ってくる事ができました。紅葉、明るい図書館、情報交換。とても充実した一日でした。皆さまお疲れ様でした。次はどこに行きましょうか。



群馬支部 大会報告

日 時：2010年11月28日（日）9:00～16:00

場 所：（見学）上野村 村立図書館、（支部大会）蕎麦屋福寿庵

参加者：6人（井ノ口、瀧澤、柘植、松田、村山、山内：記録）

1. 見学

上野村立図書館、村立小学校見学（詳細は p.3-4 の報告記事をご覧ください）

2. 支部大会

・会計報告

2009-2010 年度決算、2010-2011 年度予算承認（詳細は p.6-7 をご覧ください。）

・会員動向

渡部さん：退会（福岡支部へ）

柴内さん：次期も群馬支部で継続（後日確認済）

・来年度支部活動について

ラーニング・コモンズの動向

教育と図書館、リメディアル教育（高経大の高松先生）

研究集会など外向きの企画は人的に困難か

ほか希望があれば、適宜 ML にて提案することとした

・次年度役員・担当：全員継続とする

支部長・事務局長：井ノ口／全国委員：（支部長兼任）／常任委員：（欠員）

会計：松田／支部報：山内／支部ホームページ：柘植

・全国委員会報告（井ノ口）

・全国大会における会員外の参加者増を念頭に全体会のあり方を検討

・新潟支部休会

・関東五支部合同例会 1/29

2009-2010年度大図研群馬支部決算報告

2009.12-2010.11

収入の部

項目	予算額	決算額	備考
大図研会費	90,000	90,000	18名×5000
群馬支部会費	18,000	18,000	18名×1000
支部還元金	9,000	9,000	500×18名(1名あたり500円還元)
雑収入	114	56	預金利子
前年度より繰越金	181,886	181,886	
合計	299,000	298,942	

支出の部

項目	予算額	決算額	備考
会費納入	90,000	90,000	18名×5,000 納入
委員手当	10,000	10,000	全国委員手当(常任はなし)
サーバーレンタル料	3,000	3,000	
雑費	11,000	3,625	振込手数料(815円),切手@80×10 教室使用料(470円) 上野村図書館へお土産(1,540円)
次年度へ繰越	190,000	192,317	
合計	299,000	298,942	

上記のとおり報告します。

2010.11.28 群馬支部会計 松田和子

通帳・帳簿を監査したところ上記に間違いありません。

会計監事 三田村 道子

2010-2011年度大図研群馬支部予算案

2010.12-2011.11

収入の部

項目	予算額	前年度決算額	備考
大図研会費	85,000	90,000	17名×5,000
群馬支部会費	17,000	18,000	17名×1,000
支部還元金	8,500	9,000	500×17名(1名あたり500円還元)
雑収入	0	56	預金利子
前年度より繰越金	192,317	181,886	
合計	302,817	298,942	

支出の部

項目	予算額	前年度決算額	備考
会費納入	85,000	90,000	17名×5,000 納入
委員手当	10,000	10,000	全国委員手当 (常任委員は不在)
サーバーレンタル料	3,000	3,000	
活動費	3,000	—	
雑費	9,500	3,625	振込み手数料、通信費、その他
次年度へ繰越金	192,317	192,317	
合計	302,817	298,942	

過去の議事・記録

-----支部例会-----

日時:2010年8月8日(日)15:00-17:00; (暑気払い)18:00-20:30

場所:群馬県立図書館3階研究室(6名)/ 暑気払い:居酒屋こみさん。(8名)

参加者:瀧澤、井ノ口、高林、宮下、村山、山内(暑気払いから参加:赤尾、落合、松田)

■県内大学図書館の動向

- ・高崎経済大学 独立行政法人化(H23)、人間発達学部新設予定(H24)
- ・群馬大学総合情報メディアセンター図書館工学分館改修予定

■今後の予定について

- ・支部報の発行

年内に1号(新年度3役、決・予算、今度の活動について)、大会後に1号(大会報告、見学会、総会報告など)発行予定。群馬支部 HP で PDF 公開をし、印刷物配布なし。

- ・全国大会報告会:9月下旬
- ・支部総会、忘年会:11月下旬

※9月または11月どちらかの例会で見学会を実施 上野村に4月オープンした公民館図書室・学校図書館併設の図書館

(赤木かん子さんの手入れあり)

- ・関東5支部合同例会:1月下旬?

群馬支部の要望として、機関リポジトリの体系的な講演を聞きたい旨を提案する。

■全国大会について

- ・議案書号掲載の支部活動に追加報告、支部代表連絡先の変更(柴内さん→松田さん)
- ・井ノ口さん(リカレント教育分科会担当)、瀧澤さん(大学図書館史分科会、出版・流通分科会)が参加予定。

■その他の話題

- ・支部脱会:渡部さん(福岡大へ転職のため)
- ・群馬県地域リポジトリ構想
- ・H24 オープン予定の新高崎市立図書館の見学をしたい
自動化書庫、医療支援的なコーナーは?(医療センター併設のため連携に注目)
- ・県立図書館、前橋市立図書館の人事関係

大学図書館問題研究会 群馬支部報 Vol.10 No.1

発行日 / 2011年1月25日

発行 / 大学図書館問題研究会 群馬支部 <http://www.daitoken.com/gunma/>

事務局 / 高崎健康福祉大学図書館内 井ノ口

〒370-0033 高崎市中大類町 37-1 Tel.027-352-1290